

PCボックスカルバート

PC鋼棒を使用し、頂版ならびに底版に事前にプレストレ導入した高強度・軽量化製品です。



設計条件

① 活荷重

自動車荷重 T-245
衝撃係数 $i=0.3$

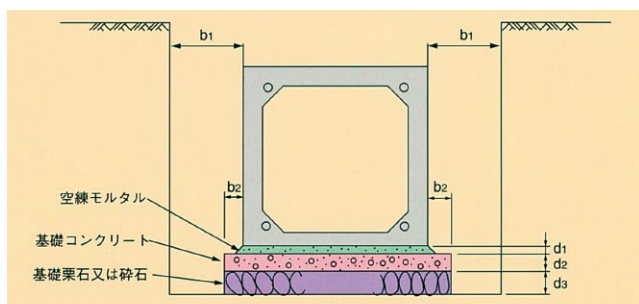
② 土かぶり

0.20~1.50m
1.51~3.00m

③ 土の性質

舗装の単位重量 $\gamma_h=22.5\text{kN/m}^3$
土の単位重量 $\gamma_s=18.0\text{kN/m}^3$
土圧係数 $K_0=0.500$

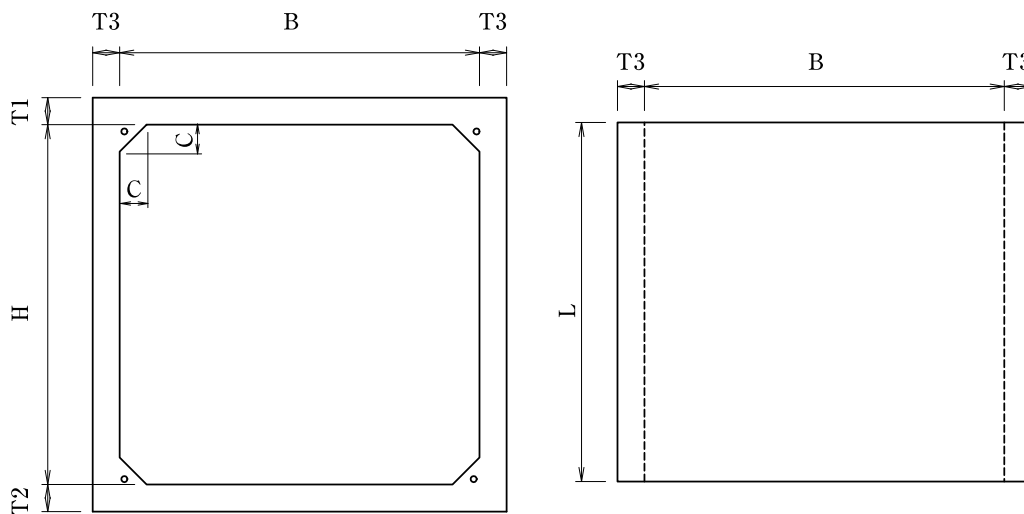
標準構造図



基礎の厚さ

記号	寸法(mm)
b1	300~400
b2	100~150
d1	30内外
d2	50~300
d3	150~350

PCボックスカルバート



呼び名	寸法(mm)			断面厚			ハンチ	参考重量(kg)
	B	H	L	T1	T2	T3		
1800	1800	1800	1995	150	150	150	150	6,075
2000	2000	1000	1995	150	150	150	150	5,175
	2000	1500	1995	150	150	150	150	5,925
	2000	1800	1995	150	150	150	150	6,375
2100	2000	2000	1995	150	150	150	150	6,675
	2100	1500	1995	150	150	150	150	6,075
	2100	1800	1995	150	150	150	150	6,525
	2100	2000	1995	150	150	150	150	6,825
2200	2100	2100	1995	150	150	150	150	6,975
	2200	1500	1995	150	150	150	150	6,225
	2200	1800	1995	150	150	150	150	6,675
	2200	2000	1995	150	150	150	150	6,975
2300	2200	2200	1995	150	150	150	150	7,275
	2300	1500	1995	180	180	180	150	7,713
	2300	1800	1995	180	180	180	150	8,253
	2300	2000	1995	180	180	180	150	8,613
2400	2300	2300	1995	180	180	180	150	9,153
	2400	1200	1995	180	180	180	150	7,353
	2400	1500	1995	180	180	180	150	7,893
	2400	1800	1995	180	180	180	150	8,433
	2400	2000	1995	180	180	180	150	8,793
	2400	2400	1995	180	180	180	150	9,513

*T-245とT-137の2種類があります。

01

ボックスカルバート

02

コンクリート床版

03

擁壁

04

道路用製品
VS側溝

05

道路用製品
側溝

06

道路用製品
境界ブロック

07

柵

08

パソコン製品

09

名古屋市製品

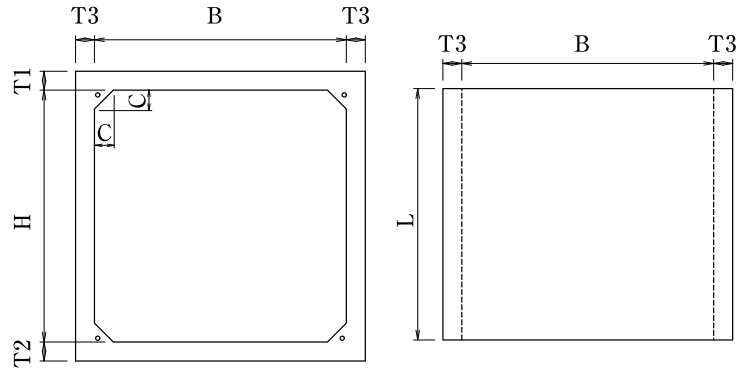
10

その他製品

11

会社概要

PCボックスカルバート



呼び名	寸法(mm)			断面厚			ハンチ	参考重量(kg)
	B	H	L	T1	T2	T3	C	
2500	2500	× 1200	× 1995	180	180	180	150	7,533
	2500	× 1500	× 1995	180	180	180	150	8,073
	2500	× 1800	× 1995	180	180	180	150	8,613
	2500	× 2000	× 1995	180	180	180	150	8,973
	2500	× 2500	× 1995	180	180	180	150	9,873
2600	2600	× 2400	× 2000	200	200	200	150	11,025
	2600	× 2600	× 2000	200	200	200	150	11,425
2700	2700	× 1500	× 1495	200	200	200	150	7,069
2800	2800	× 1200	× 1495	200	200	200	200	6,900
	2800	× 1600	× 1495	200	200	200	200	7,500
	2800	× 1800	× 1495	200	200	200	200	7,800
	2800	× 2000	× 1495	200	200	200	200	8,100
	2800	× 2800	× 1495	200	200	200	200	9,300
3000	3000	× 1500	× 995	200	200	200	200	5,100
	3000	× 1500	× 1495	200	200	200	200	7,650
	3000	× 1700	× 995	200	200	200	200	5,300
	3000	× 1700	× 1495	200	200	200	200	7,950
	3000	× 1800	× 995	200	200	200	200	5,400
	3000	× 1800	× 1495	200	200	200	200	8,100
	3000	× 2000	× 995	200	200	200	200	5,600
	3000	× 2000	× 1495	200	200	200	200	8,400
	3000	× 2500	× 1495	200	200	200	200	9,150
3500	3500	× 1500	× 995	250	250	200	200	6,575
	3500	× 1500	× 1495	250	250	200	200	9,863
	3500	× 2000	× 1495	250	250	200	200	10,613
4000	4000	× 1800	× 995	250	250	200	300	7,750
	4000	× 2000	× 995	250	250	200	300	7,950
	4000	× 2100	× 995	250	250	200	300	8,050
	4000	× 2100	× 1495	250	250	200	300	12,075
	4000	× 2500	× 1495	250	250	200	300	12,675
4500	4500	× 1500	× 995	300	300	250	300	9,825
	4500	× 2000	× 995	300	300	250	300	10,450
	4500	× 2500	× 995	300	300	250	300	11,075
5000	5000	× 1500	× 995	300	300	250	300	10,575
	5000	× 1800	× 995	300	300	250	300	10,950
	5000	× 2500	× 995	300	300	250	300	11,825

※T-245とT-137の2種類があります。

PCボックスカルバート

01
ボックス
カルバート

ボックスカルバートの標準歩掛

(国土交通省土木工事積算基準平成25年度版より抜粋)

ボックスカルバート(内空断面が台形タイプのを含む)据付歩掛は、次表のとおりとする。

02
コンクリート
床版

03
擁壁

04
道路用製品
VS側溝

05
道路用製品
側溝

ボックスカルバート据付歩掛

(10m当り)

製品長		2.0m/個				1.5m/個				
名称	単位	①	②	③	④	②	④	⑤	⑥	
世話役	人	0.6(0.8)	0.9(1.3)		1.1(1.9)	1.2(2.3)	1.6(2.7)	2.5(3.9)	3.7(5.4)	
特殊作業員	人	0.4(0.5)	0.5(0.8)		0.7(1.2)	0.8(1.4)	1.0(1.7)	1.6(2.5)	2.3(3.4)	
普通作業員	人	1.3(1.7)	1.8(2.8)		2.4(3.9)	2.5(4.7)	3.3(5.7)	5.2(8.1)	7.7(11.2)	
ラフテレーンクレーン賃料	日	0.3(0.3)	0.4(0.4)		0.6(0.6)	0.5(0.5)	0.6(0.6)	0.9(0.9)	1.3(1.3)	
雑工種率	基礎砕石	%	28(23)	37(27)	27(19)	29(19)	27(16)	22(14)	23(16)	14(11)
	均しコンクリート	%	52(43)	88(63)	56(40)	69(47)	67(38)	53(34)	60(41)	38(28)
諸雑费率	%	11(13)				7(6)				

06
道路用製品
境界ブロック

07
柵

08
ポラコン製品

09
名古屋市製品

10
その他製品

11
会社概要

- 注) 1. 凡例
 左側の数字:PC鋼材を使用しない場合(ボックスカルバートの据付)
 右側()書き:PC鋼材による縦連結の場合(ボックスカルバートの据付+PC鋼材による縦締め)
 2. 本歩掛で対象としている製品は、1ブロックを1部材で構成するボックスカルバートである。
 3. 本歩掛は、グラウトを使用しないPCアンボンドケーブル等による施行には適用出来ない。
 4. 歩掛は、運搬距離30m程度までの現場内小運搬を含むものであり、床掘り、埋戻し、残土処理は含まない。
 5. 内空断面が台形タイプの場合やインバート形状の場合の内空高、内空幅は最大値とする。
 6. PC鋼材、定着金具は、別途必要量を計上する。
 7. 縦締め歩掛は、直線部にのみ適用する。
 8. 雑工種及び諸雑費は、労務費及び賃料の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。
 なお、雑工種及び諸雑費に含まれる内容は次のとおりである。

[雑工種(基礎砕石)]

敷設・転圧労務、材料投入・締固め機械運転費、砕石等材料費

[雑工費(均しコンクリート)]

打設・養生・型枠制作・設置・撤去労務・電力に関する経費、シュート、ホップ、パイプレータ損料、コンクリート、養生材、均し型枠材料費

[諸雑費]

レバブロック・油圧ジャッキ(ポンプを含む)・グラウトポンプ・ミキサーの損料、敷モルタル・目地モルタル、グラウト材等の材料費

9. 基礎砕石の敷均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難しい場合は別途計上する。
 10. 雑工種における材料は、種別・規格に関わらず適用出来る。
 11. 本歩掛には、均しコンクリート型枠施工時は、離材塗布及びケレン作業を含む。